

農業土木

南会津農林事務所 農村整備部
平成30年度採用

職歴

- H30～ 農林水産部 農村計画課
- R2～ 相双農林事務所 農村整備部
農村整備第三課
- R6～ 南会津農林事務所 農村整備部
農村整備課

わたしを表すKEYWORD

#自然を満喫

福島県は気候や文化が浜・中・会津で異なる雄大な土地なので、それぞれの地域でアウトドア活動を楽しんでいます。南会津での勤務になってからは登山を始めました。四季を感じつつ、非日常な景色を体感しています。

#感謝の気持ちを大切に

自分一人では仕事は成り立ちません。たくさんの方々との繋がりがあって、より良い仕事ができると思うので、周りの方々へ感謝の気持ちを持つことを心がけています。

#日本酒好き

#スキー

#温泉

私は

福島の風景

が好き！



福島県の農業を支える 緑の下の力持ち

農業の生産性の向上や安心して生活できる農村環境を実現するため、調査計画を行い、農業に関する施設の設計・工事・維持管理をしています。

私の担当業務は、農作業の効率化や農村集落の生活環境改善に向けて行う道路改良工事の監督業務です。工事の支障となる水道管の移設協議や設計変更など、様々な課題を乗り越えて工事が完了した際には達成感を感じます。その後、完成した道路を地元の方々に喜んで使ってもらっている様子を見たり聞いたりするのが嬉しいです。

県職員を目指した理由

東日本大震災を経験し、生まれ育った福島県の復興に携わりたいと思ったこと、また、少子高齢化等の課題を抱える農村風景を改善していきたいと思ったことから、大学で学んだ農業土木の知識を生かして働くことができる福島県職員を志望しました。



←現場確認の様子

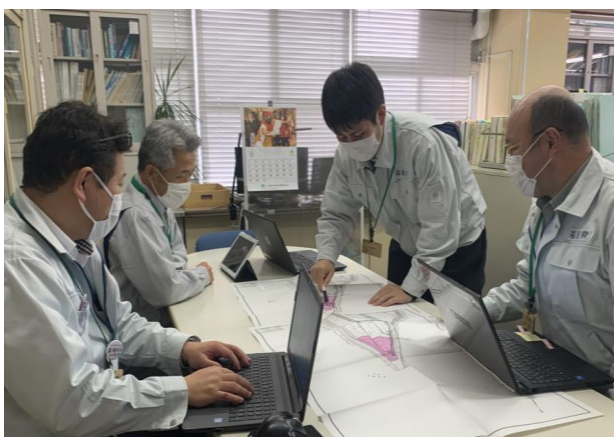


完成した道路の様子→

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:00 メールや回覧文書の確認
- 10:30 工事現場の確認 終了後、上司に状況報告
- 12:00 昼休み
- 13:00 工事関係書類・申請書等の作成
- 15:00 業者との打合せ
- 17:15 終業

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験



令和2年度から令和5年度まで勤務した相双農林事務所では、県有農業用ダムの施設維持管理にも携わっていました。日常のダムの点検だけではなく、大雨警報発令時には下流へ被害を出さぬよう関係機関との連絡調整を行った経験もあり、農地だけではなく、人命にも関わる大切な仕事を任されていることを強く感じました。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

高齢化や後継者不足により農村地域の活力低下が懸念される中、農作業の省力化や効率化を目指したほ場整備や農業用排水路などの農業生産基盤の整備を実施し、「緑の下の力持ち」として、より一層の地域活性化と魅力ある町づくりへ貢献したいです。



受験者への
メッセージ

福島県の農業と農村を次世代へ繋ぐためには、皆さんの力が必要です。
一緒にお仕事をする日がくることを楽しみにしております。